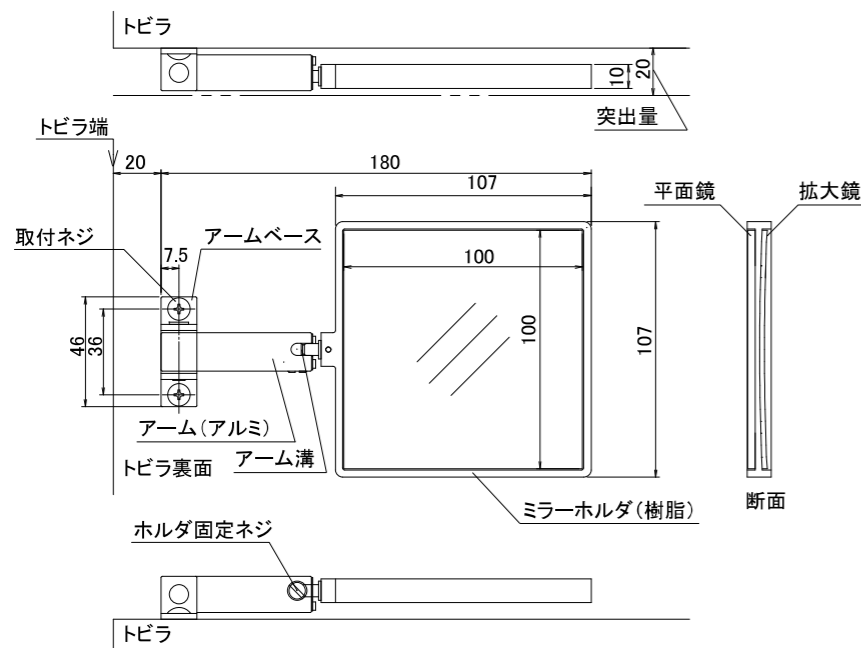


⚠ 御注意点

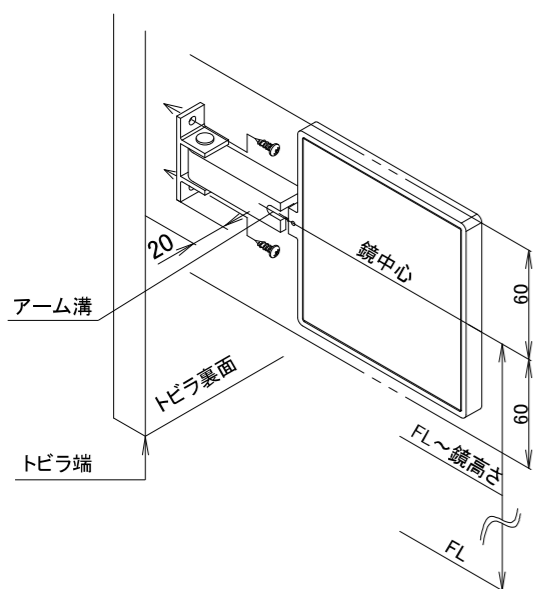
本製品は平面鏡および拡大鏡を用いています。

- ① 拡大鏡に直接日光が当たりますと、反射光線が焦点を結び、火災になる危険（収れん火災）や、やけどを負う危険がありますので、絶対当たらないように御注意ください。特に冬場は日光が深く入り込みます。反射光の当たる場所に可燃物が無いように充分御注意ください。御使用にならないときは、トビラ裏面に収納してください。
- ② 鏡の破損によりケガをする危険性がありますので、落下させたり、鏡を叩いたり、強い衝撃を与えたりしないでください。またアームに物を掛けたり、ぶら下がったりしないでください。

■各部のなまえ



■取付

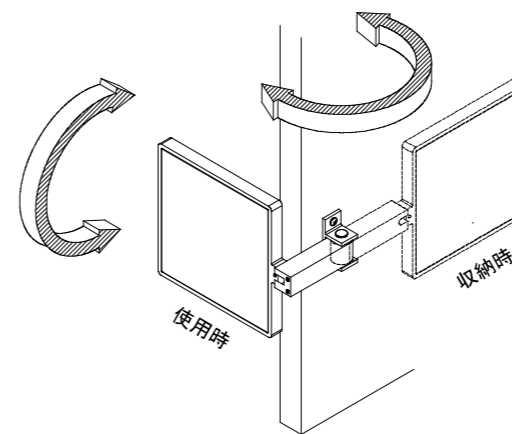


- ① 回転式ミラーを取付けるトビラには、ネジ固定が効く下地があることが必要ですので、取付の前に御確認ください。
トビラの端から 20mm の所に、アームベースの端が位置するようにしてください。ミラーをトビラ裏面に収納した時に、アーム溝が見える向きに取り付けてください。鏡中心高さは、主にお使いになる方の目線の高さに合わせを推奨します。但し回転式ミラーは、鏡の中心高さから上下約 60mm の範囲が、トビラ裏面から約 20mm 突出します。ミラー収納時にキャビネットの棚板などと干渉しない位置に取り付けてください。
取付ネジにより、アームベースをトビラの裏面に取り付けます。プラスドライバを用い、十字穴付きトラスタッピングネジ（呼び 4×長さ 12）2 本にてネジ固定をします。
ネジ固定が適切になされていないと、回転式ミラーがトビラから脱落し、鏡が割れて受傷する危険性がありますので、固定ネジによりしっかりと取り付けてください。

- ② 水分により鏡の銀面が腐食する恐れがあります。取付作業後には、水分が付着したままにならないように御注意ください。

- ③ 取付作業時に汚れが付着してしまった場合は、窓ガラスと同様に市販のガラスクリーナーや中性洗剤などを使って下拭きし、乾燥後、乾いた布で良く拭き上げ、常に乾燥した状態にしてください。
- ④ ミラーホルダは樹脂製です。取付作業時にはシンナー、ベンジン、灯油などの化学薬品を使用したクリーニングは絶対に避けてください。またクレンザー、タワシ、カッターなどを使用すると、表面にキズをつけてしまう場合がありますので、御使用は避けてください。

■御使用法



- ① トビラを開け、回転式ミラーを取り出します。
- ② アームを約 180 度回転させ、さらにミラーホルダを約 90 度回転させると、ミラーホルダがトビラの前に出てきます。
- ③ ミラーホルダの回転により、拡大鏡、平面鏡のどちらでも表側にすることができます。
- ④ 鏡の高さが合わない時は、ミラーホルダを上向きもしくは下向きに傾けてください。
- ⑤ トビラを閉める前には、まず回転式ミラーをトビラ裏面に収納して下さい。ミラーホルダがトビラ裏面に接触するまで、アームを回転させ、その後トビラを閉めてください。

回転式ミラーをトビラ裏面に収納せずに、トビラを閉めると、鏡が破損しケガをする危険性がありますので、注意してください。

- ⑥ トビラが閉まりきらない場合は、回転式ミラーと収納物が、ぶつかっている可能性があります。収納物を取り除いたり、位置をずらしたりして、扉が閉まるようにしてください。
また、キャビネットの棚板の位置を変える場合は、回転式ミラーと棚板が、ぶつからない高さにしてください。収納物や棚板と鏡が接触すると、鏡が破損し、ケガをする危険性がありますので、注意してください。

■メンテナンス

- ① ミラーホルダが傾いたり、容易に回転してしまう場合は、マイナスドライバを用い、ホルダ固定ネジを増し締めしてください。下から見て、マイナスドライバを時計回りに回すと、ホルダ固定ネジが締まります。
- ② 普段のお手入れは、やわらかい乾いた布で拭いてください。
- ③ 極度に湿度の高い場所で、長期間御使用の場合は、水分により鏡の銀面が腐食する恐れがあります。水分が付着したままにならないように御注意ください。
- ④ 汚れが付着してしまった場合は、窓ガラスと同様に市販のガラスクリーナーや中性洗剤などを使って下拭きし、乾燥後、乾いた布で良く拭き上げ、常に乾燥した状態にしてください。
- ⑤ ミラーホルダは樹脂製です。シンナー、ベンジン、灯油などの化学薬品を使用したクリーニングは絶対に避けてください。またクレンザー、タワシ、カッターなどを使用すると、表面にキズをつけてしまう場合がありますので、御使用は避けてください。

